

教育学部、教育学研究科、特別専攻科の
新入生のみなさんへ

ご入学おめでとうございます。

とはいえ、入学式の式典が中止され、ガイダンスも4月後半まで延期されるなど、例年と同じような形で皆さんをお迎えすることはできず、残念であり申し訳ないという思いをしております。

みなさんも、教員を目指して希望に胸を膨らませて入学するはずが、出鼻をくじかれた思いをしている方も多いことでしょう。

非常事態ともいえる状況の中でやむを得ないことでもありますが、みなさんには入学後の勉強や様々な手続きなどでご不便をおかけすることになります。別途案内が届くと思いますが、大勢の人が一堂に会した対面でのガイダンスを避けるために、手続き等に関するセルフラーニングをお願いしています。月末から予定されている授業開始に少しでもスムーズに対応できるよう、各自努力をお願いいたします。また、感染拡大につながらないように健康の留意としばらくの自重自粛をお願いします。

“人とのつながりを広め、深めて、沢山の経験を積み重ねてください”

入学書類の中に、各学部長など大学執行部の方々のメッセージが同封されているはずですが、その中で私が書いたものです。簡潔に一言ということ言葉足らずだと思いますので若干補足したいと思います。

教育学部は教員や教育関係の仕事を目指す人のための学部であり、「人をつなぐ人を育てる」ことを目指してきました。上のメッセージは自分自身が成長するために必要なことを述べていますが、それだけでなく、人とつながりながら人をつなげることで、お互いが成長合っていく、自分だけが良い教師になるのではなく、みんなで魅力ある教師を目指して高め合っていく、そのことがこれから出会うであろう子どもたちのために、そして社会のために、みなさんの力を発揮し、本当の意味で社会のために活躍し貢献していくことになると考えています。

厳しいスタートとなりますが、将来振り返ればこの年の入学は忘れない、忘れてはいけない思い出となるでしょう。皆さんのこれからの大学生活が充実したものになることを心から願うとともに、私たち教職員はみなさんの学習や活動をできる限り支えていきたいと思っています。

令和2年4月3日

教育学部長 教育学研究科長
荒川 智